

代表質問通告書

令和4年3月定例会

1 番 会派 至誠一心会 笹木慶之 議員

1 令和4年度施政方針について

(1) 第二次山陽小野田市総合計画における「中期基本計画」の幕開けと今後の市政運営について

ア 市の全ての政策が市民生活と密接につながっている。市民が実感し、共感できる事業を推進することが重要であり、行政の継続性を踏まえた対応が求められる。そこで、令和3年度の施政方針に掲げた施策の現時点での総合的な評価はどうか。また、これを踏まえた中で、今後の施策をどのように展開していこうと考えているか。

イ 新型コロナを見据えた持続可能な地域社会の形成に向けて、健全な行財政運営と政策財務が重要と考えるが、どのように取り組むのか。

ウ ふるさと納税やレジャー・観光収入等積極的な財源確保と事業の「選択と集中」が必要と考えるが、これらをどのように進めていくのか。

エ 人口減少対策の取組の現時点での評価はどうか。また、これを踏まえた中で、今後どのように取り組むのか。

(2) 重点施策、横断的施策等について

ア 「地域を創る」のこれまでの進捗状況はどうか。また、どのような地域づくりをしようとしているのか。

イ 「ひとを創る」のこれまでの進捗状況はどうか。また、どのようなひとづくりをしようとしているのか。

ウ 「まちの価値を創る」のこれまでの進捗状況はどうか。また、どのようなまちの価値を創ろうとしているのか。

エ どのようなデジタル社会を目指し、具体的に取り組んでいくのか。

2 番 会派 みらい21 長谷川知司 議員

1 令和4年度施政方針について

(1) 「ひとを創る」について

ア 特色ある学校教育の推進とあるが、その具体的施策として掲げている「学校教育の推進・小中高大の教育連携は、他市も行っていると思

う。この特色とは何か。

イ 高千帆小学校の児童数の増加に対応中であるが、他校区の児童生徒数の増減にはどのように対応していくのか。

(2) 「まちの価値を創る」について

ア 今後、交流人口はどのように増加すると見込んでいるか。施政方針に掲げられている取組では、費用対効果や継続性を考えると、増加するか疑問である。これまでの様々な提案をどのように検討しているのか。

イ 文化会館の中長期整備計画は、建物の長寿命化だけでなく、新幹線が停車するJR厚狭駅との連携や駅南地区をはじめとする厚狭地域全体を大局的に考えて、利用率を格段に高めることを目標に作成すべきと考えるが、どうか。

ウ 埴生地区の宝である青年の家と糸根公園は、交流人口増加促進地区と考えると整備したらどうか。

エ LABVやきらら交流館の再整備は市の浮沈に関わる大事業である。外部人材の登用を含め、専属スタッフのチームを組織して進めるべきと考えるが、どうか。

(3) 山口東京理科大学との連携について

ア スマイルサイエンス事業を大学のキャンパスで実施することは良いことだが、市民には大学があることでどのような利点があるのか。

イ 市が率先して学生と市民が触れ合う機会を作ろうとしているか。

(4) 市長の思いについて

職員一同で「活力と笑顔あふれるまち スマイルシティ山陽小野田」の実現に努めていくとある。市長は来月に在任6年目を迎えられるが、いまだに市長の顔が見えない、市長の思いは理解しにくいなどの声を聞く。この原因と市民への対応をどう考えているか。